

第12回防災運動会 実施報告書

社会福祉法人岐阜アソシア

視覚障害者生活情報センターぎふ

<概要>

日時：平成30年10月13日（土）午前10時～午後2時30分

会場：岐阜県立岐阜盲学校

参加人数：競技参加者・来賓・スタッフ他 合計173名(内、競技参加者 約108名)

主催：社会福祉法人岐阜アソシア

共催：岐阜県・岐阜県立岐阜盲学校・一般社団法人岐阜県視覚障害者福祉協会

協力：NPO法人レスキューストックヤード

岐阜県聴覚障害者情報センター

後援：岐阜市

岐阜中警察署

岐阜中消防署

京町自治会連合会

明德自治会連合会

日本防災士会岐阜県支部

協賛（五十音順）：

株式会社市川工務店

OKB大垣共立銀行岐阜支店

オオサキメディカル株式会社

奥長良川名水株式会社

尾西食品株式会社

兼山印刷株式会社

河村製紙株式会社

株式会社キクチメガネ

岐阜ドローンスクール（株式会社可児自動車学校）

株式会社コガネパン

株式会社ジムブレーション

株式会社十六銀行西野町支店

生活協同組合コープぎふ

株式会社トップ

株式会社藤田商店

<プログラム(敬称略)>

09時30分～ 受付開始（チーム分け）

10時00分～ 開会式・オリエンテーション・ラジオ体操

司会：篠田 露子

手話通訳：岐阜県聴覚障害者情報センター 田口小代美、川合由美

主催者挨拶：社会福祉法人岐阜アソシア 理事長 渋澤一郎

共催者挨拶：岐阜県 危機管理部防災課 課長 長尾広幸

来賓挨拶：

岐阜市 障がい福祉課 課長 真鍋 晃

岐阜県教育委員会 特別支援教育課管理監 児玉哲也

※紹介のみ

衆議院議員 野田聖子（代理秘書 笠井成彦）

岐阜市議会議員 鷲見守昭

審査員紹介：

審査委員長 京町自治会連合会 会長 佐藤俊正

副審査委員長 明德自治会連合会 会長 上野裕道

岐阜県 障害福祉課 社会参加推進管理監 各務辰也

岐阜中消防署 署長 森田 勉

岐阜市 障がい福祉課 係長 伊藤 真

岐阜県立岐阜盲学校 校長 林 亨

開会宣言：一般社団法人岐阜県視覚障害者福祉協会 会長 清水和弘

防災訓練について：NPO法人レスキューストックヤード 岡田雅美

競技説明：視覚障害者生活情報センターぎふ 主任 神 尚喜

ラジオ体操：岐阜アソシア職員

競技実況・解説：前田光雄、岡田雅美

10時40分～ 種目1 アルファ米みんなで炊き出し体験

11時10分～ 種目2 あんしん・安全 搬送体験

11時40分～ 昼食（随時）、喫茶、展示体験コーナー（来賓・審査員の方等…校長室にて昼食会）

12時45分～ ドローン飛行会（体育館にて）

13時20分～ 種目3 みんなで一緒に！チーム対抗バケツリレー

14時00分～ 整理体操

14時10分～ 表彰式・閉会式

講評：岐阜中消防署 署長 森田 勉

表彰式：優勝 京町自治会連合会 会長 佐藤俊正

2位 明德自治会連合会 会長 上野裕道

3位 岐阜県 障害福祉課 社会参加推進管理監 各務辰也

4位 岐阜市 障がい福祉課 係長 伊藤 真

特別賞 岐阜県立岐阜盲学校 校長 林 亨

閉会宣言 実行委員長 社会福祉法人岐阜アソシア 常務理事 山田智直

14時30分～ 後片付け

<展示体験コーナー・シールラリー>

①パトカー展示・制服体験

②OKBレスキュー号

③ドローンにさわってみよう

④煙体験ハウス

⑤A E D・応急手当体験

⑥担架づくり体験

⑦家具固定体験

<今回のポイント>

(1) 運動場にて競技を行いました

当日は晴天のため、4年ぶりに運動場で開催しました。岐阜盲学校のご協力により体育館、ランチルームも使用し「ドローンにさわってみよう」「喫茶コーナー」を設けました。

昼食は「種目1 アルファ米みんなで炊き出し体験」にて、参加者全員で協力して準備をし、ごはん（五目または赤飯）、メロンパン、缶詰、お水を運動場・ランチルームなどで召し上がっていただき、各種体験も楽しんでいただきました。

(2) 手話通訳者の導入について

今回も手話利用者の参加の可能性を考え、手話通訳をお願いしました。これは視覚障害と同様に情報障害である聴覚障害の方が、情報を共有し内容が理解できるよう配慮したものです。

(3) 展示体験コーナー、シールラリーについて

今回も前回に引き続き昼食・展示体験コーナーの時間を長めに取り、各コーナーを巡って集めるシールラリーを行いました。7つのコーナー全てのシールを集めた方先着50名に、本部にて景品をお渡しするなど好評でした。

岐阜ドローンスクールのご協力により、「ドローンにさわってみよう」の展示・デモンストレーション飛行を行い、視覚障害者の方が実際に触って体感されました。

その他、大垣共立銀行のご協力による「OKBレスキュー号」の展示では、預金通帳やキャッシュカードがなくてもATMが利用できる手のひら認証の体験。岐阜中消防署のご協力による「煙体験ハウス」「A E D・応急手当体験」。岐阜中警察署のご協力による「パトカー展示・制服体験」。また、岐阜アソシア職員による「担架づくり体験」「家具固定体験」では実際に家具を固定する器具の使用方法などを説明し、多くの方が展示を楽しまれました。

(4) 競技内容について

今回は前回に引き続き3種目行いました。「アルファ米みんなで炊き出し体験」では、一度に50人分をつくることのできる「アルファ米炊き出しセット」を用い、チームごとに炊飯から配膳まで実際の避難所と同様に体験しました。種類を五目と赤飯に分け、それぞれ必要な水の量が異なるため、しっかり作り方を確認する必要性も学びました。

恒例の「安心・安全搬送体験」「みんなで一緒に！チーム対抗バケツリレー」では、競技に慣れた方もみえますが、毎回メンバーが異なるため、作戦を立てて協力することの大切さを学びました。

毎回、テーマを持って行ってありますが、今回は「身近な防災、新たな防災」をテーマとしました。1年に1回競技を行い、防災に対する意識を高めながら、身近な家具固定体験などで日頃の防災について学び、ドローンや手のひら認証などの新たな防災機器なども体験することで、参加者の方ひとりひとりが関心を持てるように工夫しました。また前回に引き続きシールラリーの開催で、楽しく各コーナーを回っていただくことができました。

全ての競技、展示体験コーナーにおいて、実践的にかつ安全に競技に取り組み、競技者全員が楽しく行うことができました。

<開催における報道など>

10月 8日 ぎふチャン お茶の間ステーション2時6時放送

10月16日 チャンネルCCNエリアトピックス放送

<まとめ>

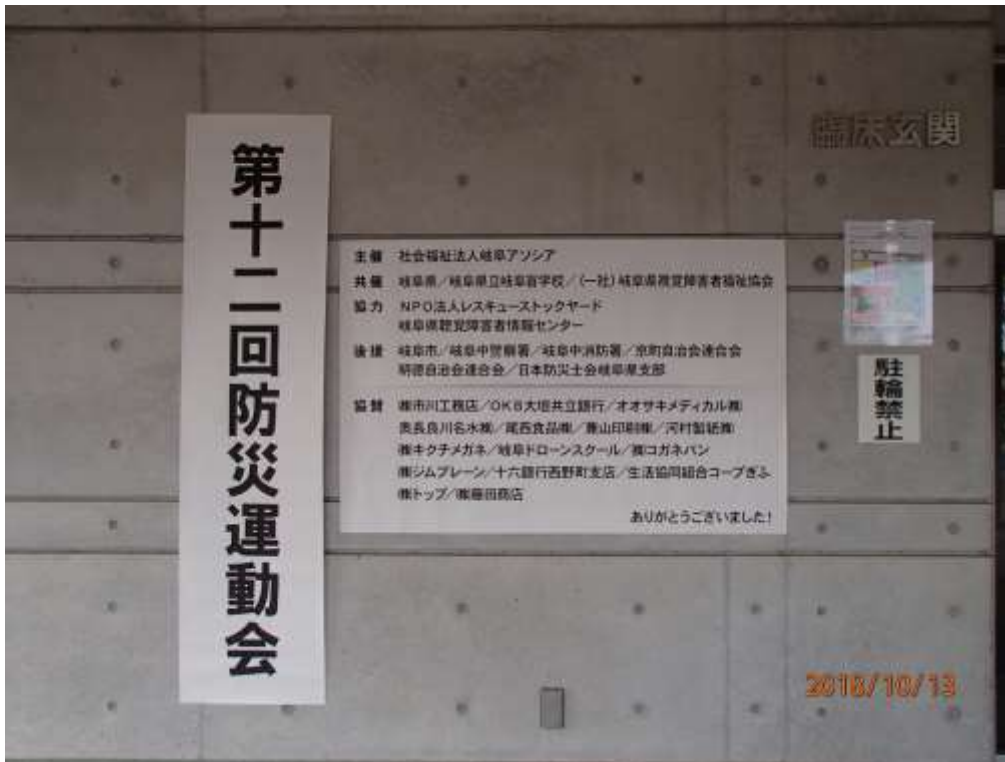
今回も様々な団体・企業の皆様に支えられ、久々の晴天となる運動会を、盛況のうちに終了することができました。

この「防災運動会」も12回目を数え、行事としても地域に根付いてきたことを感じました。

今後とも、障害者と健常者がともに理解し合うことを目的として継続することで、「自助・共助・公助がバランスよく支え合う地域づくり」を目指し、他の防災イベントとは一線を画した行事として継続できるよう努めていきたいと考えております。

第12回防災運動会 写真資料

① 正面玄関（共催・協力・後援・協賛案内）



②開会式(当法人・理事長挨拶)



③種目1 アルファ米みんなで炊き出し体験



④種目2 あんしん・安全 搬送体験



⑤応援合戦



⑥展示体験コーナー

<パトカー展示・制服体験>



<OKBレスキュー号>



<ドローンにさわってみよう>



<煙体験ハウス>



⑦種目3 みんなで一緒に！チーム対抗バケツリレー





⑧閉会式(優勝 グリーンチーム)

